

IV. 胸部外科学会地方会の活動

日本胸部外科学会 地方会の活動状況

日本胸部外科学会が昭和23年に設立され、その地方会が発足したのは10年後で関西地方会が最初であった。

昭和33年6月京大青柳教授が幹事となられ第1回関西地方会が開かれ、以来毎年6月に2日間行われている。なお中四国地区も含まれ、昭和40年第8回より特別講演、シンポジウム、パネルディスカッションなども織り込まれている。

次ぎは関東甲信越地方会で昭和40年7月日大宮本教授の司会で第1回地方会が開かれ、年2回が原則であったが、昭和50年から年3回、昭和59年から年4回となり平成8年末で第100回を迎えた。

以後、昭和41年11月には北海道地方会が札幌医大和田教授の司会で、昭和42年9月には福島医大本多教授の司会で東北地方会が誕生し、それぞれ年2回の開催となっている。

残る九州地方会が昭和43年7月に九大西村教授の司会で開催され、これで日本胸部外科学会地方会が日本全土を網羅するに至った。

平成8年度までの各地方会の回数と発表演題数を表1に示し、その推移を図1でグラフに表してみた。

各地方会での年間開催数、発表演題総数には差がみられるが、地域別にみた年間1会員当たりの発表演題数はほぼ同数であることから、申請資格審査の上での地方会演題の業績単位には地位格差がないものと思われる。

疾患別にみた演題数の推移については、学術総会での発表と大差のみられなかったことから省略した。

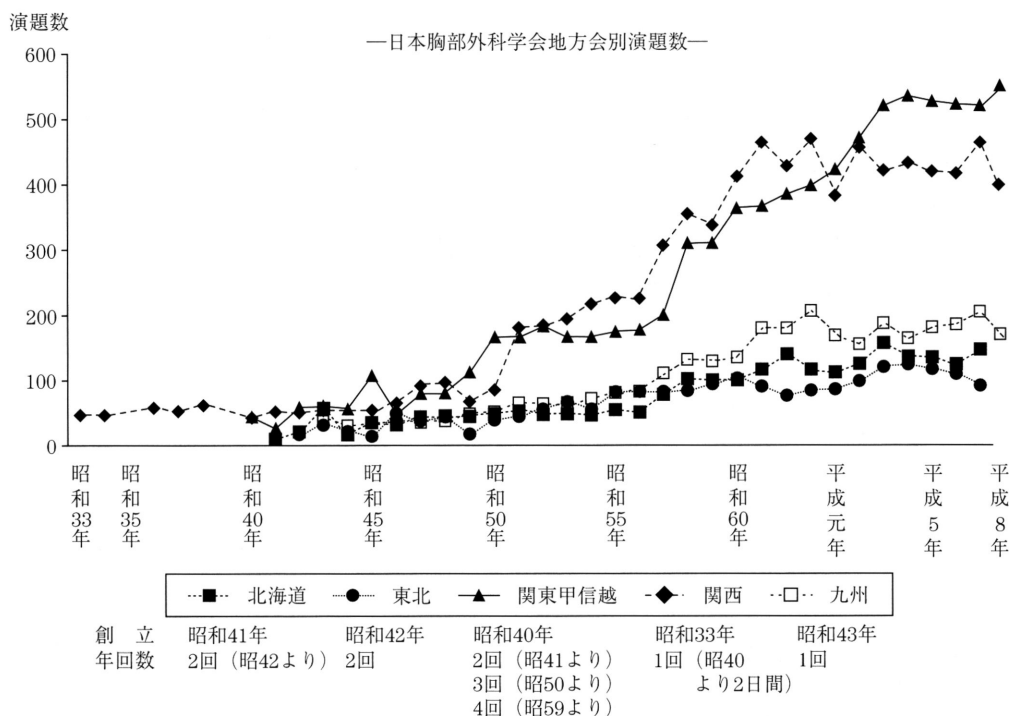


表1 日本胸部外科学会地方会別演題数

	北 海 道	東 北	関東甲信越	関 西	九 州
昭和33				48	
34				48	
35				χ	
36				59	
37				54	
38				63	
39				χ	
40			45	44	
41	11		27	53	
42	$22+\chi$	18	60	51	
43	57	33	62	54	44
44	$18+\chi$	23	57	χ	31
45	37	$15+\chi$	108	56	χ
46	33	50	48	67	39
47	44	38	81	93	39
48	46	45	82	98	39
49	46	19	114	69	49
50	50	41	167	87	52
51	56	46	167	182	66
52	49	57	184	186	65
53	50	68	168	195	63
54	48	57	168	218	73
55	56	83	176	228	82
56	52	83	179	277	84
57	80	84	202	308	112
58	103	86	311	356	133
59	101	96	311	339	130
60	102	104	365	413	136
61	118	92	368	465	181
62	141	78	386	429	181
63	118	86	399	471	207
平成 1	113	88	424	384	170
2	126	100	472	458	156
3	158	122	522	423	189
4	137	126	537	434	165
5	136	119	528	421	182
6	125	112	524	418	187
7	148	93	522	466	206
8	176	92	554	405	183

 χ ：演題数不明